

【資料2】

第2次屋久島町観光基本計画資料

「第4章 施策と具体的な取組」について

施策体系

- 計画の体系は、国の観光立国推進基本計画や県の観光振興基本方針の構成を参酌し、観光振興の基盤や受皿となる観光地としてのまちづくりのための取組と、実際の誘客にあたってのターゲティングや具体的な誘客のための取組からアプローチするものとします。
- また、基本方針の2点「観光地域づくり」と「観光誘客」は、相互に補完・循環し、地域がよくなることで観光客が満足し、観光客が地域にもたらすポジティブなインパクト（経済・社会・環境）がより大きくなる関係性を目指します。

基本理念	将来像	基本方針	基本施策	主な取組
世界自然遺産『屋久島』の価値創造	町に関わる全ての人で作りあげる世界に誇る再生型観光まちづくりの実現	基本方針 1 持続可能な観光地域づくり	環境 1 1 誇り高い自然資源の保全・再生	環境教育プログラムの提供 / 教育旅行や企業研修旅行等の受入 等
			2 環境に配慮した観光地整備と景観保全の推進	展望スポットや登山道等の整備計画 / 環境再生建築の整備検討 等
			3 循環と再生の仕組みづくり	地域内カーボンクレジットの創出と活用促進 / 地杉活用の推進 等
			4 里海の保全と海辺資源の持続的活用の推進	里海に関する調査・モニタリングの実施 / 海業の推進 等
			5 自然影響モニタリングとキャパシティ管理	登山ルート利用者数のデータ取得・分析 / 入山調整制度等の検討 等
			6 公共交通・移動手段のグリーン化	公用車や観光施設、事業者等でのエコカー（電気自動車）導入の推進 等
			社会文化 2 1 文化・歴史資源を活かした観光コンテンツの創出	山岳信仰の継承、ストーリーツアーの造成 / 歴史的遺構の保存・活用 等
			2 地域住民と観光客が関わる交流の場の創出	里めぐりの推進 / 各集落の行事等における観光客と地域住民の交流促進 等
			3 口永良部島の文化・自然資源の活用	屋久島との2島周遊促進 / 訪問者のデータ収集とリピーター戦略 等
			経済 3 1 食の魅力発信	農商工連携による商品開発 / 郷土食の発信 等
		基本方針 2 戦略的な観光誘客	2 高単価商品の開発	アドベンチャートラベルの開発 / ウェルネスツーリズムの推進 等
			3 地域内経済循環の促進	（収益構造の是正） / （財源の再投資先の検討）
			国外 4 1 国際的価値のブランド確立	海外専門メディアや旅行博への出展 / 国際的な認証制度の取得検討 等
			2 滞在型・体験型プログラムの充実	登山目的客へ体験型プログラムの提供 / 既存イベントや行事への導線づくり 等
			3 富裕層・高付加価値旅行への対応	大型クルーズ船受入に向けたインフラ整備 / 公認ガイド付きツアーの提供 等
			4 多言語対応の拡充	観光コンシェルジュの確保・育成 / パンフレットや看板等の多言語対応
			国内 5 1 関係人口の創出	第2のふるさとづくりの推進 / 地域コミュニティとの交流促進 等
			2 修学旅行やMICEの受入促進	教育旅行や企業研修旅行の受入 / 自然や環境に関する国際会議の誘致・開催 等
			特定 6 1 レスポンシブルツーリズムの浸透	観光客向けルールやマナー啓発の強化 / アンケート調査 等
			2 SBNR（無宗教スピリチュアル）	スピリチュアル・リトリート商品造成 / 地域文化との融合による深みの創出 等
		基本方針 3 しくみづくり	7 1 快適性の向上	交通アクセス環境の強化 / WEB環境の整備 等
			2 観光まちづくり人材の育成・強化	屋久島公認ガイド制度の推進 / ガイドや事業者におけるルールづくり 等
			3 観光DXの推進	CRMによる顧客管理 / 観光・交通情報の一元化と情報受発信システムの構築 等
			4 ブランディング・情報発信の強化	データに基づく発信の強化 / 一貫性ある発信体制の構築 等
			5 観光危機管理の推進	観光危機管理に関する基礎啓発 / 観光危機管理計画の策定・運用 等

基本方針Ⅰに係る基本施策及び主な取組

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
1-1 誇り高い自然資源の保全・再生 本町が誇る豊かな自然環境を将来世代に引き継ぐため、地域の誇りとしての自然資源の保全と再生を推進します。	● 環境教育プログラムの提供	●		●	
	● 教育旅行や企業研修旅行等の受入		●		
	● 来訪者によるみちなおしの推進	●			●
	● 屋久島公認ガイド制度の推進	●			
1-2 環境に配慮した観光地整備と景観保全の推進 地域の自然・景観に調和した観光施設・観光地整備を進め、観光と自然の共生を図ります。	● 展望スポットや登山道等の整備計画	●		●	●
	● サインや案内板の統一				
	● 環境再生建築の整備検討			●	●
1-3 循環と再生の仕組みづくり 地域に根ざした自然資源や文化的資産を活かし、観光によって生まれる環境負荷の最小化と価値の再創出を図るため、循環型かつ再生志向の仕組みを構築します。	● 地域内カーボンクレジット（J-クレジット等）の創出と活用促進		●		
	● エコツーリズム認証や宿泊施設の環境配慮認定支援	●		●	
	● 地杉活用の推進			●	●
1-4 里海の保全と海辺資源の持続的活用の推進 海岸域の自然・生態系と漁業・文化が共生する「里海」の保全と、地域資源としての活用を推進します。	● 里海に関する調査・モニタリングの実施			●	●
	● 伝統的な漁村文化の記録・発信			●	●
	● ブルーカーボン活用の検討			●	●
	● 住民参加型の里海再生活動の実施			●	
	● 海業の推進			●	
1-5 自然影響モニタリングとキャパシティ管理 人気の観光ルートや自然エリアにおいて、利用状況や自然への影響を可視化・分散化を検討し、キャパシティ管理を進めます。	● 登山ルート利用者数のデータ取得・分析		●		
	● 入山調整制度等の検討			●	
	● 観光×環境のモニタリング体制の確立			●	
1-6 公共交通・移動手段のグリーン（EV）化 移動手段や交通インフラについて、脱炭素化・省エネ化を推進し、観光の利便性との両立を図ります。	● 公用車や観光施設、事業者等でのエコカー（電気自動車）導入の推進	●			
	● 充電インフラの整備	●		●	

基本方針Ⅰに係る基本施策及び主な取組

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
2-1 文化・歴史資源を活かした観光コンテンツの創出 本町の歴史・信仰・伝承など地域固有の文化資源を観光に活用します。また、途絶の危機にある地域の技や芸能を、観光を通じて再生・継承します。	● 山岳信仰の継承、ストーリーツアーの造成	●		●	●
	● 歴史的遺構の保存・活用	●		●	●
	● 伝統芸能の保存・継承	●		●	●
2-2 地域住民と観光客が関わる交流の場の創出 本町の暮らしや文化を共有し、観光客と地域住民が双方向に関わり合う場を創出します。	● 里めぐりの推進	●		●	●
	● 各集落の行事等における観光化Y区と地域住民の交流促進	●		●	●
	● コミュニティビジネスの推進				●
2-3 口永良部島の文化・自然資源の活用 口永良部島の火山・自然・生活文化といった独自の魅力を活かし、屋久島との連携による持続的な交流と観光コンテンツを創出します。	● 自然・防災教育を活かした体験型プログラムの造成	●		●	●
	● 屋久島との2島周遊促進			●	
	● 訪問者のデータ収集とリピーター戦略		●		

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
3-1 食の魅力発信 本町の風土や文化を背景とした食資源を観光の魅力として活用し、「食」の価値を地域経済の活性化につなげます。	● 農商工連携による商品開発			●	●
	● 郷土食の発信	●		●	
	● 地域イベントにおける食の活用			●	●
3-2 高単価商品の開発 本町の自然・文化・ライフスタイルの価値を活かし、滞在満足度と地域経済への波及効果の高い観光商品の開発を推進します。	● アドベンチャートラベルの開発			●	●
	● ウェルネスツーリズムの推進			●	●
3-3 地域内経済循環の促進 観光によって生まれる収益が地域内で循環し、次の価値創出につながる仕組みを構築します。	● （収益構造の是正）		●	●	●
	● （財源の再投資先の検討）			●	●

基本方針 2 に係る基本施策及び主な取組

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
4-1 国際的価値のブランド確立 本町の自然・文化・環境への取り組みを国際的な視点で発信し、世界に誇る持続可能な観光地としてのブランドを確立します。	● 海外専門メディアや旅行博への出展	●			
	● 国際的な認証制度の取得検討				●
	● 県と連携したインバウンドプロモーション	●			
	● 自然や環境に関する国際会議の誘致・開催			●	
4-2 滞在型・体験型プログラムの充実 登山や自然観察といった主要目的に加えて、地域文化や暮らしに触れる多様な体験を提供することで、滞在日数の延伸と地域との関係性の深化を図ります。	● 登山目的客へ体験型プログラムの提供	●		●	
	● 既存イベントや行事への導線づくり			●	●
4-3 富裕層・高付加価値旅行への対応 自然・文化・ホスピタリティを融合させた高品質な体験を通じて、本質的な価値を求める訪問者をはじめとする高付加価値旅行者の受入環境を整備します。	● 大型クルーズ船受入れに向けたインフラ整備	●			
	● 屋久島公認ガイド付きツアーの提供	●		●	●
4-4 多言語対応の拡充 多様な国・地域からの訪日外国人旅行者が安心して滞在・観光できる環境を整えるため、多言語化を進めます。	● 観光コンシェルジュの確保・育成	●			
	● パンフレットや看板、WEBサイト、災害対策情報等の多言語対応			●	●

※庁内：施策動向調査における継続意向等の庁内照会 会議：策定委員会及び担当委会意見 調査：町民・事業者・観光客アンケート調査結果 w s：町民ワークショップ意見

基本方針 2 に係る基本施策及び主な取組

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
5-1 関係人口の創出 屋久島と多様なかたちで継続的に関わる「関係人口」を全国各地に広げるため、交流機会の創出を推進します。	● 第2のふるさとづくりの推進				●
	● 地域コミュニティとの交流促進			●	●
5-2 修学旅行やMICEの受入促進 本町の豊かな自然環境や学びの資源を活かし、教育・研修・交流の場としての機能を強化し、長期滞在や平準化、地域との関わりを生み出す新たな誘客スタイルの確立を図ります。	● 教育旅行や企業研修旅行の受入【再掲】	●		●	
	● 自然や環境に関する国際会議の誘致・開催【再掲】			●	●

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
6-1 レスポンシブル・ツーリズムの浸透 自然や地域社会への影響に配慮し、来訪者一人ひとりが責任ある行動をとる「レスポンシブル・ツーリズム」の考え方を広く共有します。	● 観光客向けルールやマナー啓発の強化	●		●	●
	● アンケート調査等による観光客との双方向のコミュニケーション		●		
6-2 SBNR（無宗教スピリチュアル）視点の受入体制の充実 自然との対話・内省・癒しを求める人々向けに、屋久島の精神性・静寂性・自然環境を活かした観光体験の創出と情報発信を行います。	● スピリチュアル・リトリート商品の造成			●	●
	● 地域文化との融合による深みの創出			●	●

基本方針3に係る基本施策及び主な取組

基本施策	主な取組	設定根拠※			
		庁内	会議	調査	WS
7-1 快適性の向上 来訪者が本町で快適に移動・滞在できるよう、交通アクセスや情報取得環境の改善を図ります。	● 交通アクセス環境の強化	●		●	●
	● WEB環境の整備			●	
	● デジタル技術を活用したタイムリーな交通案内			●	
	● 利便性の高い交通インフラの検討	●		●	●
7-2 観光まちづくり人材の育成・強化 持続可能で再生型の観光まちづくりを推進するため、地域の担い手となる多様な人材の育成と連携強化を図ります。	● 屋久島公認ガイド制度の推進【再掲】	●			
	● ガイドや事業者におけるルールづくり	●			●
	● 観光教育の推進	●			
	● プラットフォームを通じた定例会開催による情報共有			●	
7-3 観光DXの推進 観光分野におけるデジタル技術の活用を通じて、来訪者の利便性向上と地域側の観光マネジメント力の強化を図ります。	● CRMによる顧客管理			●	●
	● 観光・交通情報の一元化と情報受発信システムの構築	●			
7-4 ブランディング・情報発信の強化 本町の価値や魅力を的確に伝え、共感を呼ぶブランドイメージを確立するため、戦略的な情報発信体制を構築します。	● データに基づく発信の強化		●		
	● 町内情報発信窓口の拡充			●	
	● 一貫性ある発信体制の構築			●	
7-5 観光危機管理の推進 災害や感染症、社会的混乱などの危機に対し、来訪者と地域双方の安全・安心を確保するため、観光分野における危機管理体制の強化を図ります。	● 観光危機管理に関する基礎啓発			●	
	● 観光危機管理計画の策定・運用			●	